

エアロパーツ投入が奏効し、6番手から追い上げて2位フィニッシュ

スーパー耐久シリーズ2008第3戦「SUPER TEC」

2008年6月14日(土)～15日(日)

チーム名	: チームホンダアクセス<ゼッケン 76>
クラス	: スーパー耐久 ST-4クラス(全レース参戦予定)
マシン名	: Racing Modulo TYPE R
ドライバー(決勝周回数)	: 玉本秀幸(58周)、小林正吾(60周)
戦績	: 予選クラス6位 総合30位 / 決勝クラス2位 総合20位
獲得ポイント	: 15点/合計43点 シリーズ 2位
天候	: 曇り
出走台数	: 38台

2008年スーパー耐久シリーズ第3戦「SUPER TEC」が富士スピードウェイで開催された。第2戦仙台を惜しくも2位で終えたTeam Honda Accessは、CIVIC勢不利の富士を考慮、必勝を期すべくエアロパーツを前倒して投入し、万全の体制で富士スピードウェイ入りした。

<6月14日「予選」>

今回STクラス4にはシビック5台、インテグラ8台の計13台がエントリー。金曜日の練習走行でセッティングを進め、土曜日の予選に臨んだ。Aドライバーの玉本は昨年の予選タイムを2秒ほど上回る1分58秒749をマークして4番手につける。気候の違いはあるものの、エアロパーツの投入やタイヤの進化も手伝って、大幅なタイムアップを果たすこととなった。

また、Bドライバーの小林も1分59秒526と5番手のタイムをマークし、合算タイム3分58秒クラス4番手のポジションを得た。しかし、玉本がペナルティを受けたことで2グリッド降格の6番手スタートが確定した。

<6月15日「決勝」>

決勝は曇りのもと13時14分にスタート。スタートを担当した玉本は、グリッド降格の悔しさを晴らすべく、1周目に#18インテグラ、3周目に#73インテグラ、そして7周目には予選タイムの及ばなかった#87インテグラも抜いて3番手に浮上する。「前を押さえられたら追い上げは厳しい」と玉本が語るように早めのプッシュでポジションアップを果たすことができた。折り返しを前にコース上のマシントラブルによってセーフティカーが入り、ピットインを目前にしていたTeam Honda Accessは58周を終えてピットイン。ガス補給とタイヤ交換をして小林にチェンジしてレースに復帰。

この時点でセーフティカーの導入位置にも助けられ、2番手に浮上。小林は順調に周回を重ねるが、トップに行く#51インテグラのペースは落ちることがなくラップ毎に差が広がる。しかし後続の#73インテグラに1周以上のマージンを得ていたTeam Honda Accessは、111周目に規定通り2度目のピットインでストップ&ゴー。そのまま118周を走りきり、2位でチェッカー。シリーズ2位の座をキープした。

次戦はシリーズの山場となる十勝24時間レースで、7月19日～21日に十勝スピードウェイで開催される。Team Honda Accessの活躍にご期待ください。

お客様からのお問合せは 株式会社ホンダアクセス お客様相談室 0120-663521へお願いいたします。
受付時間:9時～12時 13時～17時 (土日・祝祭日を除く)